

# 私のシベリア



上:「業火」1969 下:収容所(ラーゲリ)模型

# それぞれのシベリア

# 私のシベリア



上:「運ぶ人」1959頃 下:収容所(ラーゲリ)模型

# それぞれのシベリア

2018年  
7月14日土 → 10月14日日

開館時間◇9:00~17:00(入館は午後4時30分まで) 休館日◇毎週火曜日 ※8月14日は特別開館  
入館料◇一般 500(400)円/小中高生 200(150)円 ※未就学児は無料 ※( )内は20名以上の団体料金  
主催◇香月泰男美術館(長門市)  
特別協力◇平和祈念展示資料館(総務省委託)  
助成◇公益財団法人 花王 芸術・科学財団

香月泰男美術館 〒759-3802 山口県長門市三隅中226  
TEL 0837(43)2500  
香月泰男

Y. KAWANISHI

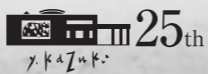


2018年  
7月14日土 → 10月14日日

開館時間◇9:00~17:00(入館は午後4時30分まで) 休館日◇毎週火曜日 ※8月14日は特別開館  
入館料◇一般 500(400)円/小中高生 200(150)円 ※未就学児は無料 ※( )内は20名以上の団体料金  
主催◇香月泰男美術館(長門市)  
特別協力◇平和祈念展示資料館(総務省委託)  
助成◇公益財団法人 花王 芸術・科学財団

香月泰男美術館 〒759-3802 山口県長門市三隅中226  
TEL 0837(43)2500  
香月泰男

Y. KAWANISHI



本展は、画家・香月泰男の従軍・シベリア抑留体験から生まれた作品と、平和祈念展示資料館(東京)所蔵の抑留に関する資料を交差させることで、シベリア抑留について立体的に捉える試みです。

# シベリヤと日本、戦争と戦後、

考えれば考えるほど私にはまだどこかちぐはぐで、しっくりしない部分が残っている。そのところを埋めたいがために私は絵を描きつづける。それがシベリヤを体験させられた絵描きに与えられた使命だと思うからである。

と香月は記しています。

先の大戦が終戦した1945年8月を境に、約57万5千人の日本人がシベリアに抑留されました。その1人だった香月の生涯のライフワークともなった「シベリヤ・シリーズ」は1956年から本格的に始動しますが、平行して身の周りのものや家族などを描き、常に「シベリヤ」と「日常」が交差していました。

記憶をたどり、自身の収容先や体験について絵や手記を残した抑留経験者もいます。彼らも香月同様、日常生活の中で抑留を反芻しました。抑留経験者は、常に二つの時間が流れていたのかもしれませんが。

展示会は4章で構成されています。各章では香月の作品やゆかりの品と、時代背景を知る資料や抑留経験者の持ち帰った品が並びます。

香月はシベリアのことを「シベリヤ」と呼びました。香月の「シベリヤ」と抑留経験者の「シベリア」。それぞれが異なる体験をもつ抑留について、考えてみましょう。



## I 1940-45年 戦争の足音



「石と壺」1940



千人針 平和祈念展示資料館蔵



ハイラル通信 1943-44

会期中展示替えを行います

「隼」1944

## II 1945年8月15日 抑留のはじまり



避難民



ソ連軍の参戦を報じる新渥日報 平和祈念展示資料館蔵



「業火」1969



「湿地」1959

## III シベリア抑留



袖なしの防寒外套 平和祈念展示資料館蔵

ロシア製の斧とのごぎり 平和祈念展示資料館蔵



「金網の中の自画像」1959頃



「運ぶ人」1959頃

## IV 復員への希望 平和への願い



伊達用郵便葉書 平和祈念展示資料館蔵



「デモ」1972



スターリンを称賛する壁新聞の前で(写真) 平和祈念展示資料館蔵



「鳩と少年」1954

### イベント情報

◆両館の学芸員によるギャラリートーク  
平和祈念展示資料館担当学芸員をゲストに迎え、展示会のみどころ、展示資料や香月作品についてのエピソードなどをお話します。  
日時◇7月14日(土)  
11:00~1時間程度 ※事前申込不要

◆夏休み恒例!今年もやります! おもちゃづくり教室  
木片や小枝、木の実を組み立てて、自分だけのオブジェを作ります。  
日時◇8月11日(土)・12日(日)  
両日とも10:00~15:00  
場所◇香月泰男美術館 参加費◇300円 講師◇遊林クラブ  
※未就学児の参加は保護者同伴でお願いします。※大人も参加できます。

◆学芸員によるギャラリートーク  
日時◇8月25日(土)・9月29日(土)11:00~40分程度 ※事前申込不要

香月泰男美術館開館25周年企画  
—アトリエ探訪—

香月作品の舞台裏 アトリエの扉が今開きます  
2018年10月25日、香月泰男美術館は開館25周年を迎えます。これを記念して、自宅アトリエから香月愛用の品を移し再現したアトリエ内に、25組50名様を特別にご招待いたします。通常外からしか覗くことのできない香月作品が生れたアトリエ内を、学芸員の解説とともに見学してみませんか。見学をご希望の方は、下記の方法によりお申込みください。  
企画展の見学(ギャラリートーク付)の後、アトリエ内を見学します。

2018年11月/9日(金)	午前9時~12時
公開日 10日(土)11日(日)	午後の部 14:00~15:30
17日(土)18日(日)	※午前・午後とも内容は同じです。

定員◇各日、5組まで計25組 50名  
※申込者多数の場合は抽選となります。 ※入館料、アトリエ見学科料を含みます。25周年記念干菓子付  
参加料◇1,500円



申込み方法  
①見学希望日と午前・午後の希望(第二希望まで)  
②見学希望者氏名③年齢④返信連絡先を明記の上、はがきにてお申込みください。各回、2名までお申込みいただけます。応募多数の場合は抽選とし、見学決定者には10月9日までに書面にて通知いたします。  
募集期間◇9月1日(土)~9月30日(日)必着  
※電話、ファックス、メールによるお申込みは受け付けておりません。※小学生以下の参加は、必ず保護者同伴でお申込みください。※アトリエ内の撮影はできません。※お預かりした個人情報(本企画の連絡)にのみ使用し、企画終了後は速やかに破棄いたします。

平和祈念展示資料館

平和祈念展示資料館(東京・新宿)は、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者について、広く知っていただくための施設です。戦争が終わってからも苦しくつらい体験をした方々の労苦を物語る実物資料やグラフィック、映像、ジオラマなどを展示しています。また、体験者の労苦をより多くの方に伝えるため、全国各地で展示会を開催しています。

開館時間◇9:30~17:30(入館は17:00まで)  
休館日◇月曜日 ※祝日または振替休日の場合はその翌日  
※夏休み期間は除く・年末年始(12月28日~1月4日)新宿住友ビル全館休館日

所在地◇東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階  
電話◇03-5323-8709  
WEBサイト◇http://www.heiwakinen.jp

入館無料

交通のご案内

- ・広島方面より  
中国自動車道美祿IC→CT→小郡萩道路絵堂ICより車で約20分(R28・R191経由)
- ・九州方面より  
中国自動車道美祿ICより車で約40分(R435→R31→R36経由)
- ・公共交通機関ご利用  
JR山陽新幹線・JR山陽本線厚狭駅  
美祿線乗換(65分)▷長門市駅下車  
長門市駅よりバスで約20分  
最寄バス停「湯島温泉」下車 徒歩3分

香月泰男美術館について  
詳しい情報はこちら

@kazuki\_yasuo

〒759-3802 山口県長門市三隅中226  
TEL 0837(43)2500  
香月泰男

美術館ウェブサイト  
美術館Twitter